

皇學館

学園報 第68号

発行・編集
学校法人皇學館 企画部
TEL 0596-22-6496・8600

大 学 大学院 専攻科 〒516-8555
文学部 教育学部 三重県伊勢市神田久志本町1704
現代日本社会学部 TEL 0596-22-0201(代) FAX 0596-27-1704
高等学校・中 学 校 三重県伊勢市楠部町138
[高校] 〒516-8577 TEL 0596-22-0205(代)
[中学] 〒516-8588 TEL 0596-23-1398(代)

注目記事

- 2面 大学基準に「適合」と認定 実践的英語プログラムを強化
- 3面 新任教職員紹介
- 4・5面 フィールドワーク・遠足・自然体験学習報告
- 6面 (高校・中学校) オーストラリア人留学生・ブリジットさんが来校 ほか
- 7面 人事異動
- 8面 平成28年度卒業生就職状況



厳かな雰囲気の中、執り行われた入学式

「日本学の拠点」大学に学ぶ

うらかな春の陽に桜の蕾が、一気にほころび始めた四月四日。入学式は午前十時に始まった。国歌斉唱の後、静かな緊張感が漂うなかで清水潔学長が主旨を奉読した。続く学長式辞では、祝福の言葉とともに、本学の創設から再興までの歴史、日本の文化や思想に基づく「建学の精神」などを新入生に対して、丁寧に説明。そして「日本の精神

四月四日、記念講堂において平成二十九年度入学式が挙行された。今年度は大学院十二名、専攻科十八名、学部生七五〇名、編入学一名の計七八一名が入学。キャンパス内は初々しいスーツに身を包んだ新入生であふれた。

誇りと決意を胸に新たな一歩

平成二十九年度 皇學館大学入学式

文化の源泉の地」である伊勢にあり「古くからの学問伝統」を受け継ぐ本学は、まさに日本を知り、学ぶ「日本学」の拠点大学にふさわしい、と説いた。

また後半では今、本学がめざす一つの柱「地(知)の拠点」大学の形成というビジョンについて

も言及。急速に進む人口減少社会、少子高齢化、地方の衰微衰退などの社会課題の解決へ向けて、関係自治体や産業界各種団体など、地域の多様な主体と連携協定を結ぶことで、情熱を持って自ら学び考え行動するアクティブシブズを養成する教育プログラムに力を注いでいることを紹介した。

最後は「四年間を通して人間性を磨き、自身の固有の価値と使命とは何かを探究し、学びの成果を社会に生かす道を見出し、日本を支え、世界に貢献する人材に育ってほしい」と激励して締めくくった。新入生らは、みな希望に満ちた明るい表情で耳を傾けていた。その後、理事長告辞に続き、各学部の代表者が力強く宣誓を行った。午後から新入生らは外宮、内宮を参拝し、大御神に入学を奉告した。

夢の実現に向けて

有意義な学生生活を

伊勢市出身で現代日本社会学部に入学した大井理央さんは、本学を選んだ理由を「公務員をめざす学生へ向けた『Wスクール制度』が魅力的だった」と語った。伊勢春慶や伊勢和紙などの工芸に関心があり、地域の伝統産業に触れる機会を積極的に作りたい、とも語ってくれた。教育学部の佐脇美登梨さんは、子どもの頃から小学校の教員に

情で耳を傾けていた。その後、理事長告辞に続き、各学部の代表者が力強く宣誓を行った。午後から新入生らは外宮、内宮を参拝し、大御神に入学を奉告した。

平成二十九年度 皇學館中学校・高等学校入学式

日本人としてのアイデンティティを育んで

四月七日に第三十九回皇學館中学校入学式が、同月十日に第五十五回皇學館高等学校入学式が執り行われた。真新しい制服に身を包んだ新入生たちはこれから始まる学校生活を思い、期待と不安が入り混じった表情で式に臨んでいた。

皇學館中学校では今年度入学式が四月七日に行われ、三十二名が入学。皇學館高等学校では同月十日に実施され、三十九名が皇學館生として新たな

な生活をスタートさせた。式では上村桂一学校長が主旨を奉読。続く式辞で、「本学園は『国際的な視野』と『日本人としてのアイデンティティ』を

育む教育にも力を注いでいる。これらの能力を身につけ、世界に羽ばたく力を養っていただきたい。そのためにも、夢や目標に向かって努力を続けることなく、皆さん全員が互いに助け合いながら高めていく良き仲間であってほしい」と説いた。

上村学校長の言葉を受け、皇學館中学校ではハズリー・リオさんが、皇學館高等学校では川高莉里さんが「建学の精神に基づき学業に専念し、誇りと自覚ある行動を為す」と力強く宣誓。学校生活の第一歩を踏み出した。



宣誓する川高さん

キャンパスが便利・快適・安全に

- 学内コンビニ
- 9時半始業
- 夜間無料バス
- 新型スクールバス
- 体育館空調新設
- 無線LANエリア拡大
- 省エネ化
- 防災機能向上

より快適で安心安全なキャンパスをめざして、専門業者と提携した施設設備の充実化が進められている。昨年九月には倉陵会館一階にコンビニエンスストアをオープン。豊富な品揃えとともにATM等も設置されており、毎日多くの学生で賑わっている。また、遠方からの通学生への配慮から今年度より授業開始時間を午前九時半と三十分繰り下げ。路線バスがなくなる夜間時間帯対策として計五便(最終二十時十分)の宇治山田駅行き無料バスを運行し、五月にはスクールバス一台を新型車に置き換えた。学生からは「飲み物の種類が豊富で麺類のお弁当が販売されているので、食堂が混雑している時などコンビニをよく利用する(神道三年・伊藤)

今夏には総合体育館の一階部分に空調を新設し、安否確認システムや防災・備蓄倉庫等を活用した「危機管理」「防災機能向上」にも焦点を当てていく。新電力の導入や外灯のLED化等で光熱費を大幅に削減できたことから、これらを財源として活用していきたい。

店舗名は「ミニ皇學館大学店」

倉田山 春秋

大学ではこの四月から始業時間を三十分繰り下げた。県内の遠方から通学する学生諸君への配慮のためである。再興以来、五十年以上にわたって九時始業であったわけだから、一大改革であったといえよう。たかが三十分、されど三十分である。まずは、時間割を編成する教務担当の職員が頭を抱えることになった。これまでIV講で開講していた非常勤講師の先生方からII講時への変更希望が相次いだからだ。このため、担当者はほぼゼロから時間割を組み立てるという神業を余儀なくされた。始まってみると、習慣は身に染み付いていると感じることが多い。授業内の時間配分で、妙に早く終わった、到達するはずの内容にまで及ばなかったりした。いずれもいゆる時差ボケで、前者は時計の針を前年度までの感覚で計りながら授業を進め、内容を大幅に端折りながら終えようとした結果であり、後者は終わる時間が遅くなったために油断した結果である。さて、連休明けあたりから、体内時計もようやく慣れてきたが、どうも昼食時はまだまだのようで腹の鳴る音はgongに聞こえてもやはり辛いのである。



実践的英語プログラムを強化

真のグローバル人材の養成をめざす本学では、英語等の語学力を身につけるべく、正課に限らず正課外においても多様なプログラムを用意している。また、ビジネスの現場においては英語力を測る指標としてTOEICを活用するなどより実践的な英語力が求められており、これら社会のニーズに応えるために、今年度五つの強化策を追加した。海外研修・留学制度においても経費補助の増額やセメスター留学制度を取り入れ、学生の海外体験を積極的に支援している。以下に強化プログラムの詳細を紹介する。

グローバルプログラム

【二内は担当部署名】

英語学習アドバイザー

【国際交流担当】

英語教育に定評のある(株)アルクのアドバイザーが、九号館一階「百船」のグローバルラウンジに週三日(火・水・木)常駐し、「目標の確認」「現在の学習状況」「英語学習全般についての悩み」「次回力アップ」などのサポートを行う。面談・受講ともに無料。

実践的英語コミュニケーションプログラム開講

【就職担当】

(株)アルクによるTOEIC対策集中講座「TOEIC入門 I Advanced」を八月に、「TOEIC入門 II Advanced」を九月に、それぞれ一年次より開講する。TOEIC 600以上取得目標。受講料の補助があり、テキスト代を含み一万円程度で受講できる。なお次年度より順次、中・上級クラスを開講する予定。

大学基準協会の大学基準に適合と認定



本学では昨年度、文部科学省の認証機関である「公益財団法人大学基準協会」より大学評価(認証評価)を受け、審査の結果、本年三月十三日付で同協会の求める大学基準に「適合」との認定を受けた。

提言では「長所として特記すべき事項」に建学の精神や目的が「皇学入門」や「伊勢学」「伊勢志摩共生学」等を通じて学生に浸透している点が挙げられた。また、教育研究組

TOEIC(IPテスト)団体受験&受験料補助

【教務担当】

本学会場で受験可能。六月及び十二月頃に実施予定。公開テストよりも受験料が安価で、さらに半額以上を大学が負担するため、本人負担は二万円のみ。力だめしの他に、留学時の補助額決定や単位認定などにも利用できる。(ただし、就活での活用前には公開テスト受験をおすすめ)

英語村(初級、中・上級)

【国際交流担当】

学内での留学疑似体験をめざして、九号館一階「百船」のグローバルラウンジ英語村では、十二時

海外研修・留学

【国際交流担当】

英語圏や中国語圏の協定大学等への多様な海外研修プログラムを設定。短期(四週間程度)のものでは、費用の一部を大学が補助する(基本額は一割で、語学力に応じて三割まで増額)。また、海外保険料(二万円程度)のみで五名まで派遣するプログラムを追加予定(秋頃に募集を開始し、年度末に実施予定)。さらに、休学せずに一学期間留学できるセメスター留学制度も開始し、単位認定と、五名を限度として五十万円を限度として五十万円の経費補助を行う。(英語力で選抜)

英語教育プログラムMAP<正課外>(平成29年度以降実施計画)

青字は目標(または対象)レベル、【】内は担当部署

	1年次		2年次		3年次	4年次
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期 秋学期	春学期 秋学期
留 学				セメスター留学(18単位認定、5名を上限として50万円補助) 英検2級・TOEIC 500以上のみ参加可 新		
				英国セント大学春期研修(国内旅費のみ本人負担、1名) 上級		
	短期・セメスター ※短期研修経費1〜3割補助 【国際交流担当】	ニュージーランドワイカト大学春期語学研修 英検2級・TOEIC 500・IELTS 4.5以上で3割補助				
		フィリピン・マレーシア春期語学研修(他に5名を海外保険料のみで派遣する制度を追加予定) 英検2級・TOEIC 500・IELTS 4.5以上で3割補助 新				
		英国セント大学夏期語学研修 英検2級・TOEIC 500・IELTS 4.5以上で3割補助				
学内留学 【国際交流担当】	英語村(初級、中・上級) ※初級クラスを追加 新					
海外インターンシップ 【教務担当】			海外インターンシップ(マレーシア) ※5万円補助			
(株)アルクより派遣 【国際交流担当】	英語学習アドバイザー ※6月より「百船」に週3日配置予定 新					
(株)アルク 実践的英語コミュニケーションプログラム 中・上級クラス ※受講料の補助あり 【就職担当】	TOEIC入門 I Advanced ※集中講座(8月開講予定) 500→ 新	TOEIC入門 II Advanced ※集中講座(9月開講予定) ←600 新	※次年度以降、順次上級レベルクラスを追加予定			
【教務担当】	英語e-ラーニング(ネットアカデミー2) 「スーパースタンダードコース」「Power Wordsコースプラス」 TOEIC 初級(400)〜上級(700)の100点アップ					
TOEIC団体受験 ※受験料半額補助 【教務担当】	TOEIC団体受験(6月頃) ※本学会場で受験可 新	TOEIC団体受験(12月頃) ※本学会場で受験可 新				
【附属図書館】	ブレ英検(試験の約1ヶ月前から週に2〜3回実施) 2級・準2級					
外国人交流 【国際交流担当】	セント大学留学生受け入れ		「伊勢」と日本スタディプログラム留学生受け入れ			

六研究が科研費に採択

文部科学省及び日本学術振興会が実施する科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)に今年度、六つの研究課題が採択された。

同事業は人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」。ピア・レビューによる審査を経て、独創的・先駆的な研究に対し助成が行われるが、採択率は毎年平均二十七%程度と狭き門だ。新規採択された研究テーマと代表者は下表の通り。今後の研究成果が期待される。

平成29年度 科研費採択課題一覧(平成28年度申請) ※課題番号順に掲載

研究課題名	研究種目	研究代表者/所属学科	研究期間
日本列島のリアス海岸における 中期更新世海成段丘の高分解能地形面編年 (課題番号: 17K01237)	基盤研究(C)	近藤玲介 准教授 教育開発センター	平成29年度〜平成31年度
中世伊勢神宮に関する三重県外所在古文書の網羅的研究 (課題番号: 17K03077)	基盤研究(C)	岡野友彦 教授 国史学科	平成29年度〜平成31年度
新地域支援事業に対応する老人クラブ活動の地域連携モデルの構築 (課題番号: 17K04169)	基盤研究(C)	関根 薫 准教授 現代日本社会学科	平成29年度〜平成31年度
近代の災害救助支援と政府・皇室・宗教の役割に関する実証的研究 (課題番号: 17K04278)	基盤研究(C)	新田 均 教授 現代日本社会学科	平成29年度〜平成31年度
日本における「善き生」の構想とは何か ―「正直」の倫理思想史/比較思想史的研究 (課題番号: 17K13323)	若手研究(B)	板東洋介 准教授 神道学科	平成29年度〜平成31年度
田山花袋周辺における外国文学書の流通と受容に関する研究 (課題番号: 17K13398)	若手研究(B)	小堀洋平 助教 国文学科	平成29年度〜平成31年度

英国・セント大学のインデグさんと交流

本学の学術交流協定校である英国・セント大学より留学生インデグ・キヤメロンさんが来学。四月中旬からの二週間、多くの学生が交流を楽しんだ。また、約二十名の学生が支援サポーターとして協力した。



交流会ではインデグさんがセント大学の魅力について英語で発表し、本学からはよさこい部「雅」有志による演舞が披露された。

滞在中、インデグさんは「日本語表現や「書道」「茶道」等の講義を受講。課外の時間には支援サポーターの案内で神宮や二見、河崎等でのフィールド・スタディを満喫した。四月二十日と二十五日に

「インデグさんには菓子一つひとつの味よりも和菓子の美しさや繊細な造りが新鮮だったようだ。日本語初級者である彼女に菓子の原料や作り方を英語で説明するのに苦労したが、英語はもちろん、外国人の視点にも触れることができた大変勉強になった」と語った。

新任教職員紹介

この春から新たに加わった教職員の方々を紹介します。

- ①出身地・経歴等 ②趣味・特技等 ③座右の銘 ④一言メッセージ

皇學館大学

教育学部教育学科教授

大杉 成喜



- ①滋賀県・前熊本大学教育学部准教授
②ICT（とりわけ電子工作）
③高校時の内申書に「磊落」と書かれていました。
④五十にして天命を知ると申します。優れた良い教員の養成が私の使命と感じています。

教育学部教育学科准教授
秋元 雅仁



- ①兵庫県・広島大学大学院修了
②弓道五段、ジョギング
③全てはやるかやらないか。それが覚悟だ。
④伝統ある皇學館大学に対し、力の限り貢献していく所存です。

現代日本社会学部
現代日本社会学科准教授
大井 智香子

- ①愛知県・日本福祉大学社会福祉学部、同大学院卒。元岐阜県社会福祉協議会職員



- ②登山、バックパッキング
③地球は一つ。されど己が棲むところにおいてそれを捉えよ。（南方熊楠の言葉）
④ご縁をいただき伊勢に参りましたことに感謝申し上げます。よろしくお願いたします。

神職養成部
秦 昌弘

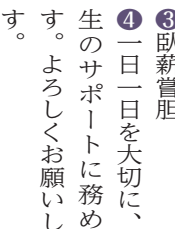


- ①三重県・皇學館大学神道学科卒。前桑名市博物館長、縣神社宮司
②読書 ③温顔無敵
④神職を志す学生諸君とともに、神職のあり様を改めて求めていきたいと思います。

学生支援部就職担当
一路 侑杜



- ①三重県・皇學館大学現代日本社会学科卒



- ②バスケットボール、駅伝観戦
③臥薪嘗胆
④一日一日を大切に、学生のサポートに努めます。よろしくお願いたします。

学生支援部
教職アドバイザー
玉丸 宏二

高等学校教諭
小谷 杏奈



- ①三重県・同志社女子大学英語英文学科卒
②ピアノ、球技スポーツ
③笑う門には福来る
④生徒時代から大好きである母校に帰ってくることででき、とても幸せです。

高等学校常勤講師
木村 元茂



- ①三重県・名古屋大学理学部卒。元県立高等学校教員
②ゴルフ
③本気になると思えてくる



史学科卒。元公立学校教員
①山登り、スキー、ギター
②一步一步
③第二の人生、学生の夢の実現に向かって、共に頑張りたいと思います。

高等学校常勤講師
古林 弓楓

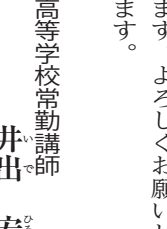
- ④生徒の皆さんの進路希望が実現できるよう頑張ります。

高等学校常勤講師
古林 弓楓



- ①愛知県・皇學館大学国史学科卒
②ピアノ弾き語り
③Stay hungry, stay foolish
④いろいろな事にチャレンジしていきたいと思えます。よろしくお願いたします。

高等学校常勤講師
井出 宏



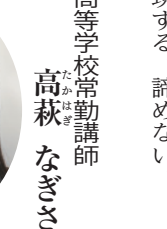
- ①神奈川県・元神奈川県立逗子高等学校教員
②野球・山スキー
③為せば成る 為さねばならぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり
④由緒ある伊勢、皇學館で教鞭をとれる縁を大切に、頑張つて参ります。



高等学校常勤講師
勢利 稔

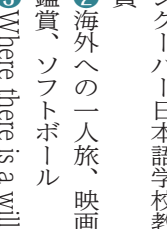
- ①三重県・鳴門教育大学大学院学校教育研究科卒。前三重県立宇治山田商業高校教員
②映画鑑賞、スキндаイビング、溪流釣り
③人間万事塞翁が馬
④夢や希望は、頻繁に言葉に出し続けることで実現する。諦めない。

高等学校常勤講師
高萩 なぎさ



- ①三重県・カナダブリティッシュコロンビア大学ELI修了。元カナダバンクーバー日本語学校教員
②海外への一人旅、映画鑑賞、ソフトボール
③Where there is a will, there is a way.
④海外で学んできた事が生徒たちの為に役立てるよう、努力して参ります。

高等学校常勤講師
高萩 なぎさ



- ①三重県・名古屋大学理学部卒。元県立高等学校教員
②ゴルフ
③本気になると思えてくる

アクティブ・スチューデント・インタビュー

「日本文化」と「実践英語」を両輪で学べるのは皇學館ならでは

上場企業の七割が採用時に参考にしているといわれているTOEIC。そのTOEICで二五〇点以上のスコアアップに成功し、英語を使う仕事に就きたいと就職活動に励む塩崎幸さん（「ミユ四年」に、効果的な勉強法や役に立った大学の英語教育プログラムについて伺った。



英語に興味を持ったきっかけは？

小学生の頃から洋画が好きで、英会話も習っていました。でも、本格的に英語を話せるようになったと思ったのは一年次にケント大学での夏期英語研修に参加してからです。

多彩な語学プログラムが揃っていることと、実家が社家のため、皇學館を志望しました。今、本当に正しい選択をしたと実感しています。というのも、海外で現地の人と話す、必ず日本の文化や日本人について質問されます。その点、皇學館は日本の精神文化や礼儀について深く学べる環境にあり、また、メイヨー先生



の「Japanese Culture and History」の授業は細かなニュアンスも学べるので、とても役立ちました。

海外でどんなことを質問されましたか？

ニュージーランド春季語学研修に参加した際、ホストファミリーから「いただきます」の意味について聞かれ、命への感謝を込めた言葉だと説明

ベトナム人三名が看護師試験に合格

日本語教育支援で地域貢献



右から、齋藤教授、キエンさん、トゥイーさん、チュオンさん、濱畑助教。齋藤教授が主に国家試験の日本語を、濱畑助教が日本語全般にわたって指導した

平成二十六年・二十七年に三重県、伊勢赤十字病院、田中病院と外国人看護師候補者への日本語教育支援に関する連携協定を締結した本学。同協定に基づき、本学教育開発センターで学んできたベトナム人四名のうち、ファム・ドゥック・キエンさん（伊勢赤十字病院）、ゲン・フォック・チュオンさん（田中病院）、チャン・ティ・トゥイーさん（同）が二月に実

施された第一〇六回看護師国家試験に合格した。外国人受験生、四七名のうち、受かったのは六十五名という狭き門。彼らを支援してきた本学としても嬉しいニュースとなった。

平成二十六年九月一日の講義を第一回とし、これまで一年半にわたり毎週金曜に一、二時間の講義を受け持ってきた濱畑静香助教は「看護介護における日本語教育」はまだまだ新しい分野だが、病院担当者や連絡を密にし現場の情報を共有したことで支援に生かす



グローバルな視点を学ぶことができた5日間

正式参拝を通じ 目指すべき世界、姿を実感

神道学専攻科 関 口 誠

私達神道学専攻科37期生は、平成29年5月28日、松本教授の引率で、三重県多度大社、岐阜県南宮大社の正式参拝、岐阜県養老公園を見学した。

当日は、五月晴れの好天に恵まれ、午前8時20分に記念講堂前を出発した。

最初に訪問した多度大社は、御祭神の天津彦根命が天照大神の御子神であることから、伊勢神宮との関係が深い御社である。緑濃い多度山麓での正式参拝は、緊張と静寂に包まれ、厳かに行われた。その後、室内で平野禰宜から700年続く伝統行事「上げ馬神事」が、存続の危機に瀕しているとのこと説明いただいた。「無理に人馬を坂上に上げている」のは動物虐待であるとか、馬と見物客との距離が近いので危険であるという指摘があり、これに対して平野禰宜は、「いつの時代にも違った考え方はあるが、永年受け継がれてきた伝統の本筋は、残すことを相手に理解してもらうまで説明し、次の世代に引き継いでいく」とのお言葉に、伝統の世界に生きる人間の矜持と覚悟を感じ、大変感銘を受けた。



正式参拝等を通じて神職としての使命感を学んだ

午後は南宮大社を訪問した。御祭神の金山彦命は、金属、鉱山に関係深い神様で、社殿内には氏子から奉納された金属製品が沢山飾られていた。正式参拝は社殿内で行われ、荘厳な世界を実感し、改めて今の立場での一層の精進を痛感し、大変勉強になった。

その後、宇都宮宮司のお話を承り、最後に当社保有の壱千年前の駅鈴の音色を拝聴させて頂き、心が洗われる思いだった。

最後に、養老改元(717年)、1300年の慶事に湧く養老公園に入り、養老の滝を見学した。帰路の車内で松本教授

平成28年度 フィールドワーク日程一覧			
学部	引率教員	行 き 先	日 程
国 内			
文	木村 徳宏	石川・富山	3/21(火)～3/24(金)
	小孫 康平	沖縄	3/6(月)～3/9(木)
	中松 豊	東京(小笠原諸島)	3/5(日)～3/12(日)
	深草 正博	沖縄(石垣島)	3/7(火)～3/10(金)
	井上 兼一 渡邊 毅	九州(鹿児島・大分)	2/26(日)～3/2(木)
	中條 敦仁	北海道	2/27(月)～3/2(木)
	山本 智子	東京・横浜	3/7(火)～3/10(金)
教育	鶴沼 憲晴	三重県内	3/6(月)～3/8(水)
	新田 均司 遠藤 司	東京	2/19(日)～2/22(水)
	山路 克文	長崎	2/20(月)～2/23(木)
	灰谷 和代	九州(熊本・長崎)	2/24(金)～2/27(月)
海 外			
教育	小木曾一之 加藤茂外次 片山 靖富 杉野 裕子	イタリア・ミラノ	3/5(日)～3/9(木)
	豊住 誠 吉田 直樹 吉田 明弘 野々垣明子 小幡 章子	シンガポール	3/4(土)～3/8(水)
	駒田 聡子 梶 美保 高橋摩衣子	フィリピン・セブ島	3/6(月)～3/10(金)
	叶 俊文 中村 哲夫 市田 敏之	グアム	3/5(日)～3/9(木)
	渡邊 賢二 元塚 敏彦	グアム	3/4(土)～3/8(水)
	佐藤 武尊 (他大学合同実施)	オーストラリア	2/27(月)～3/5(日)
	笠原 正嗣 榎本 悠孝 関根 薫	グアム	2/23(木)～2/27(月)
	現日		

は「今回、初めて正式参拝を経験した人もいるでしょう。実際の正式参拝を行ったことの意味、そして、その経験を生かして、どんな勉強をしていくか、又、頂いた由緒書などを読んで、今日のことをよく復習してください」とご指導いただいた。

緊張と静寂、そして、荘厳かつ優美な正式参拝、多度大社平野禰宜の伝統を守るための強い決意、南宮大社宇都宮宮司の幅広く奥深い歴史のご講話、今、神社界でご活躍されておられる方々のお姿は、私達にとって、憧憬の世界であり、目指すべき世界であることを、強く実感することのできた一日だった。

中学校 自然体験学習 4月28日(金)



山頂近くの展望台にて青い海をバックに記念写真

支えがあれば、やり遂げられる

朝熊山登山 1年A組 大川 純 菜

朝、私は小さな不安を抱えながら起きた。小さな不安とは、私は山登りは楽しみだが、速いペースで登れるかどうかかわからないので、みんなの足を引っぱらないか心配だったからだ。朝熊駅につくと、不安そうな顔をしている人は一人もおらず、むしろ、わくわくしているクラスメートの顔を見て、「みんなと共に楽しめばいいんだ」と、気持ちが軽くなった。

山登りの道は、途中から予想以上に険しく、足元がお

ぼつかずに苦戦した。そんな私の様子に、クラスメートの竹内さんがいち早く気づき、励ましてくれた。時には手を取り、支えてくれた。

私はこの登山を通じて、何事も人の支えがあれば、一人ではあきらめてしまいそうな事も、周りのサポートがあれば、あきらめずにやり遂げられる事にあらためて気がついた。私も周りの人を支えていける様に成長していきたい。



縦割り班で新入生も先輩たちと仲良く昼食



KOGAKKAN UNIVERSITY OPEN CAMPUS 2017



詳細はこちらから
平成29年度開催のオープンキャンパス情報は受験生サイトよりご覧いただけます。お気軽にご参加ください。

「学 び」
体験DAY

7/16(日)
10:30～15:30

「未 来」
発見DAY

8/6(日)
10:30～15:30

「学 校」
見学DAY

7/15(土) 13:00～16:00

「大学祭」
同時開催DAY

10/28(土) 10:30～15:30

未来のわたしに会う、素敵なお一日。

無料

予約不要

【入試担当】〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704 TEL 0596-22-6316

皇学館

検索

未来へつなぐ日本のこころ

皇 學 館 大 学

心と学びを紡ぐ学外・校外活動

フィールドワーク・遠足・自然体験学習報告

大学・高等学校・中学校においてフィールドワーク及び遠足、自然体験学習が実施された。

自分の目と耳と足を使って得た学びはより深い実感を伴って体にしみ込み、

今後生きるというもの。以下に学生・生徒の感想を紹介する。

大学 フィールドワーク

自身の知識・経験値が 教育活動に影響すると実感

中松ゼミ

教育学科4年 河俣 美希

私たち生物学ゼミは、3月5日から12日にかけて、小笠原諸島・父島を訪れた。小笠原諸島は東京都に属しているが、本州から約1000km離れたその地には多くの固有種が生息している。小笠原諸島は固有種の割合の高さや自然の豊かさから、2011年に世界自然遺産に登録された。しかし現在、小笠原諸島の生物には絶滅の危機に瀕しているものも多く存在する。私たちは、豊かな自然を体感すると同時に、小笠原の生物を守る活動の実態を知り、



父島・見港船客待合所横クジラのモニュメントにて

それらを今後のゼミ活動や教壇に立つときの糧とすることを目的としてこのフィールドワークに臨んだ。

滞在中、私たちは登山やホエールウォッチング、南島への上陸などをして、小笠原の自然を体感した。また、オガサワラオコウモリなどの調査を行っている小笠原自然文化研究所と、カタマイマイなどの調査を行っている自然環境研究センターという、小笠原の固有種・希少種の調査を行っている研究所の方々と交流させていただき、取り組み内容や実態を聞かせていただいた。研究所の方々は、小笠原の人々が現状を知り、自分たちの手で小笠原の自然を守ろうという意識や行動が大切であると口を揃えて仰っていた。そのために、講演会を開いたり、地元の小学校に赴いたり、地域の人と一緒に保護活動を行うことで理解を図ろうと活動されていることを教えていただいた。

小笠原でのフィールドワークを通して、実際に見て、聞いて、触れて、知るという取り組みは非常に重要な体験であることを改めて知ることができた。そして、実際に活動をしている方々から直接話を聞くことができるという、本当に貴重な体験をさせていただいた。私たちのゼミ活動の一環である出前授業においても、さらに私たちが教員となり、授業をするにあたっても同じことが言えるのではないと思う。教員の知識や経験値は児童や生徒、さらには保護者に大きな影響を与える。ゼミ活動や将来の活動で今回の経験を生かしていきたい。

現地の教育活動に刺激を受ける

野々垣ゼミ

教育学科4年 中屋 こむぎ

私たちは3月4日から3月8日にかけて5つのゼミと合同でフィールドワークのためシンガポールを訪れた。シンガポールの国土の東西の長さは約42.195キロメートルで、フルマラソンの距離と同じといわれている。現地のガイドさんからシンガポールにマレーオンが7匹いると聞いたときは非常に驚いた。

フィールドワークの目的は、国際都市であるシンガポールを訪れ、多文化社会のあり方について直接触れることだ。私が特に多文化を感じたのは人々の服装と食事であった。シンガポールは、多国籍国家のためインド・中国・マレー系の多彩で特徴的な街があり、食事や服装も様々で、街にはインドの民族衣装のサリーやチャイナ服などを着用している人がいた。また、食事の種類も様々で、有名なチキンライス、エスニック料理や中華料理などがあった。特に、ラクサというココナッツミルクをベースにしたスープ料理は独特の甘さがあり、食文化の違いを肌で感じる事ができた。しかし、異国といっても味噌汁やすしが食べられるなど日本を感じられるところもあり、非常に安心感が得られた。

ゼミではアートミュージアムも見学した。ラーニングギャラリーでは現地の小学生を対象としたシャンプーキ

高等学校 春の遠足 4月19日水

「受験」を忘れ、楽しく過ごす

ナガシマスパーランド

3年7組

鈴木 優花

この遠足は3年生になって初めての行事だったので、皆はとても楽しみにしていました。しかし高校生活最後の遠足でもあったので、楽しみだけでなく、同時に寂しさもありました。でも、ナガシマスパーランドに向かうバスの車内ではどのグループでも何のアトラクションに乗るか相談したり、楽しくおしゃべりをしたりして盛り上がっていたので、あっという間に到着しました。園内に入って私たちのグループは次々とアトラクションの乗り物に乗っていきました。風が強い日だったので動いていないアトラクションが多く残念でしたが、園内で出会った他のグループの人たちとフードコートで面白かったアトラクションを教え合ったりして楽しく過ごしました。

帰りのバスの車内で一日を振り返ってみて思ったことは、今日だけは自分が受験生だということを忘れて楽しむことができたということでした。明日からは気持ちを切り替えて受験生としての自覚を持って、充実した生活を送りたいと思います。



仲良しの友人たちと

外国のような景色に感動

志摩スペイン村

2年7組

長谷川 千紘

どこまでも続く青空、暖かな陽に照らされた園内はキラキラと輝き、チューリップが咲き乱れていました。そんな街並みを歩いていると日本を離れ、まるでヨーロッパを訪れているような感覚になりました。私は絶叫系の乗り物が苦手ですが、友人に誘われ思い切って乗ってみました。一瞬ふわりと体が浮き、まさに「絶叫」してしまいました。何度も何度も叫び、よいストレス発散になり、バイキングは私のお気に入りのアトラクションになりました。

高校に入学し今まで関わってきた友人たち。実は写真を撮るのがとても上手だということや、絶叫系の乗り物が好きだったということなど新たな一面を知ることができ、今まで以上に仲良くなることができました。帰りの集合時間が近づくにつれ、もう少しここで過ごす時間が欲しいと思いました。だから今度はぜひ、違う季節に家族や友だちと訪れたいと思います。初めて行った志摩スペイン村への遠足は大満足なものとなりました！



スペインのような街並みで

世界に一つだけの作品が完成

信楽陶芸村

1年10組

小林 涼花

高校生になって初めてのイベントである遠足の行き先は「信楽」でした。それを聞いた時、あまり楽しみだとは思えなかったのですが、今考えてみると、体験を通して陶芸の魅力を知り、また仲間の輪を広げることもできたのでとても意味のあるものだと感じられます。

私は陶芸をするのが初めてで、上手くできるか不安でしたが形は関係ないということを実感しました。なぜなら、形や大きさは様々で正解はなく、どんな形であってもそれは作った人の持つ個性の輝き方が違うからです。それに、その人にしか生み出すことのできない味を出せるところが陶芸の魅力ではないのかと私は思いました。

今回の遠足を通して、陶芸の魅力を学ぶだけでなく、互いの作品を評価し合うことで仲間の輪を広げることもできました。世界に一つだけの作品の完成がとても楽しみです。



自分の作品を前に記念撮影

オーストラリア人留学生・ブリジットさんが来校

留学生本人のみならず、生徒たちにとっても異文化理解を深める貴重な機会になると、本学では外国人留学生を積極的に受け入れている。今年一月、オーストラリア・ゴールドコーストからブリジットさんが来校。平成三十年一

月までのおよそ一年間、本校生徒として学ぶことになった。伊勢ロータリークラブの留学生プログラムを利用してやって来たブリジットさん。アジアの文化に興味があり、日本を選んだという。来日当初はまったく話せなかった日本語も、半年経った今はカタコトながら日常のコミュニケーションをとれるまでに上達。美術部に属しており、描いた図柄二種がクラスTシャツに採用されるなど、学校生活にすっかりとけ込み、楽しんでる様子がうかがえた。「みなさんがとても親切で、言葉が



遠足を楽しむブリジットさん。好きな日本食は「焼肉とお好み焼きとコロッケ」、ホストファミリー宅ではバラエティー番組をよく見るそうだ



制服にも慣れた様子

「先輩方と一緒に勉強やクラブ活動に励みたい」

対面式・オリエンテーション

柔らかな春の日差しが降り注ぐ四月十二日、新入生三四九名と在校生をあわせ千人を超える生徒が一堂に会し、対面式が行われた。

新入生を代表して挨拶したのは、入学式で宣誓という大役を担った川高莉里さん。川高さんは「二、三年生の先輩方と一緒に、一生懸命勉強やクラブ活動に励みたい」と力強く語り、これから始まる学校生活への意欲を見せていた。一方、三年

生で校友会総務委員長を務める山本瑠香さんは「早く皇高高校での生活に慣れ、皇高生としての自覚を持って、勉強やクラブ活動に頑張っほしい」との言葉で新入生を激励した。

その後、新入生はオリエンテーションへ。まずは体育館で、皇學館と神宮の関わりや参拝の心得、作法を学んだ後、バスで神宮へ出発。桜舞う中、入学の奉告をした。



代表で挨拶をする川高さん

保護者会総会開催される

わからないときは一生懸命英語で説明してくれそうです」とブリジットさん。伊勢神宮にも参拝したそうで、「とてもスピリチュアルで静かな空間が広がっていました」と印象を語る。将来は外交官をめざしてお

わらないときは一生懸命英語で説明してくれそうです」とブリジットさん。伊勢神宮にも参拝したそうで、「とてもスピリチュアルで静かな空間が広がっていました」と印象を語る。将来は外交官をめざしてお

五月十三日、新緑の風薫る午後、平成二十九年度の保護者会総会、後援会総会が中学校セミナーホールを会場として開催され、多数の保護者に参加いただいた。高校は午前中に公開授業を実施し、それに引き続いての開催となった。



会場となった中学校セミナーホール

各総会とも平成二十八年年度旧会長、上村桂一校長、山口建史常務理事からの挨拶のあと平成二十八年度事業・決算報告から審議が進められた。司会は中学が井上貴子役員、高校は黒田健役員が担当した。役員改選後、新役員が紹介され、平成二十九年度の事業計画・予算案の審議が行われた。議案はすべて賛成多数により可決・承認された。

またパワーポイントによる資料映像をもとに、中高生徒たちの日々の活躍ぶりが小林誠治教務部長、中川幸洋教頭より保護者に紹介された。総会の最後には、中川幸洋教頭から高校の新任教職員が紹介され、代表して木村元茂学監より挨拶があった。

続いて皇學館大学倉陵会館に会場を移し、保護者・教職員の懇談、交流の機会として恒例の合同懇親会の場が設けられた。保護者会新会長の中村孝史氏による挨拶後、中学校保護者新会長の徳田玲子氏が乾杯の音頭をとると、会場はすぐに和やかな雰囲気包まれた。



挨拶に立つ高校保護者会新会長の中村孝史氏

参加者は飲み物を手にテーブルに並んだ料理を味わいつつ、和気藹々と歓談の時間を楽しんだ。最後は高校後援会新会長の谷本保明氏の一丁締めで会を閉じた。

「この先生は誰だ？」クイズで盛り上がる

対面式

四月十日に対面式がセミナーホールで行われた。少し緊張気味の様子で入場する一年生たちと拍手で迎える二、三年生の先輩たち。

在校生を代表して落合慶亮君(三年)が歓迎の言葉をかけると、新入生を代表して奥田拓海君が「よろしくお願います」と初々しく挨拶の言葉を述べた。その後、恒例の「この先生は誰だ？」クイズが始まると、校友会本部役員による先生のモノマネに会場は笑いとおやかな空気に包まれた。以下に新入生の言葉を紹介する。

「友だちが増え、うれしく安心」

一年B組 西井麻侑

私は、皇學館中学校に入学して不安に感じていたことがありますが。それは、同じ小学校出身の友だちがいなくて、友だちが増え、うれしくて安心しました。友だちや学校のことが何かわからないことにすごく不安で、緊張していました。しかし、小学校と違い、中学校になると教科や授業の時間も増え、勉強も難しくなり、大変



先生のモノマネをする校友会本部役員

二年藤田君が走り幅跳びで第一位！

第三十三回三重リレーカーニバル

四月二十三日伊勢市で開催された第三十三回三重リレーカーニバルにおいて、本校二年の藤田晃輝君が「中学男子走り幅跳び」で第一位を獲得した。藤田君は小学六年の時に「八〇mハードル」で全国二位に輝いた陸上界のホープ。今後の活躍に注目だ。

「努力は嘘をつかない」

二年B組 藤田晃輝

僕は試合前日までとてもドキドキしていました。この試合は今シーズン最初の試合で県大会だったからです。三年生もいるので入賞できたらいいと思っています。しかし、思い通りの動きをすることが



手応えをつかんだという藤田君

センチという記録に迫ることができました。「努力は嘘をつかない」ということを改めて感じることができました。この試合でもとても自信をつけることができたので、このままノーストップで今年も全国大会へ出場します。そしてメダルを獲ります。

人事異動

平成29年4月1日付●()内は旧職

大 学

重任	皇學館大学長 清水 潔	昇格	教育学部教授 杉野 裕子 (教育学部准教授)
採用	教育学部教授 大杉 成喜 教育学部准教授 秋元 雅仁 現代日本社会学部准教授 大井智香子	配置換	文学部准教授 遠藤 慶太 (研究開発推進センター准教授)
任用更新	文学部教授 特別教授 白山芳太郎 文学部教授 特別教授 上野 秀治 文学部教授 特別教授 半田 美永	採用	神職養成部部長 秦 昌弘 学生支援部書記補 一路 侑杜
	大学院文学研究科教授 (特別教授) 櫻井 治男 大学院文学研究科教授 (特別教授) 毛利 正守 教育学部教授 特別教授 深草 正博 現代日本社会学部教授 (特別教授) 岸川 政之 教育開発センター助教 濱畑 静香		学生支援部入試担当課長 北村 典子 (学生支援部主幹) 企画部主事 奥知 裕 (企画部主査) 企画部主査 梅川 紗綾 (企画部書記) 学生支援部主査 程野 晶子 (学生支援部書記)
	学生支援部入試担当課長 新田 均 学生部長 橋本 雅之 附属図書館館長 小木曾一之 研究開発推進センター長 大島 信生 佐川記念神道博物館長 大島 信生 教育開発センター長 齋藤 平 神道学科主任 松本 丘 国文学科主任 中川 照将	職種変更	総務部主事 藤田 翼 (総務部情報処理技術者)
	現代日本社会学部長 中村 哲夫	役職	学長 清水 潔 副学長 河野 訓 文学部長 岡野 友彦 教育学部長 中村 哲夫

高等学校・中学校

採用	皇學館高等学校教諭 小谷 杏奈 皇學館高等学校常勤講師 木村 元茂 皇學館高等学校常勤講師 古林 弓槻 皇學館高等学校常勤講師 井出 宏 皇學館高等学校常勤講師 勢力 稔 皇學館高等学校常勤講師 高秋なざさ	昇格	皇學館高等学校教頭 中川 幸洋 (高等学校教諭) 皇學館高等学校教諭 大西 正紀 (高等学校常勤講師) 皇學館高等学校養護教諭 中村 浩菜 (高等学校養護助教諭)
配置換	皇學館高等学校教諭 前川 航希 (高等学校常勤講師) 皇學館高等学校教諭 平賀 活行 (皇學館中学校教諭) 皇學館高等学校教諭 奥村 裕 (皇學館中学校教諭) 皇學館中学校教諭 馬場 裕一 (皇學館高等学校教諭)		国史学科主任 松浦 光修 コミュニケーション学科主任 豊住 誠 教育学科主任 吉田 直樹 学長補佐 田浦 雅徳 学長補佐 中松 豊 学長補佐 菅野 寛明

酒米「神の穂」を田植え

産学官連携日本酒プロジェクト



上／豊作を願って執り行われた神事
下／慣れない手つきながら、一つひとつ丁寧に田植えをする学生

米、水、造り手すべて、地元松幸農産、旭酒造株式会社、株式会社伊勢萬が二年目を迎える日本酒プロジェクト。野の水田にて田植えを行った。

この日は朝からあいにくの大雨。本学祭式研究部による御田植祭は水田脇のハウス内にて執り行われ、参列したプロジェクト関係者一同、豊作を祈願した。実施が危ぶまれるほど強かった雨脚も皆の祈りが通じたのか神事の終了と同時にぴたりと止み、本プロジェクトに関わる学生十名と教員は雅楽部が奏でる流麗な音色を聴きながら、三反の水田に酒米「神の穂」を丁寧に植えていった。順調にいけば、稲刈りは九月二日に行う予定。約二千三百本の生産を予定している。

なお、初年度のプロジェクトで完成した酒は「斎王」(御裳濯川)として各三千円(数量限定)で販売している。問合せは皇學館サービス(株) ☎059・222・8561まで。



三プロジェクトが成果報告

平成二十八年度おかげキャンパスプロジェクト

本学では教員・学生が主体となり地域団体や自治体等と協働で取り組んでいる活動や、地域の活性化につながる活動を「おかげキャンパスプロジェクト」として積極的に支援している。関わる分野は歴史・伝統文化・異文化、子ども・子育て・教育・生涯・健康・福祉・地域づくり・公共・環境、人材育成等と多岐にわたる。昨年度は三プロジェクトが進められ、成果を報告した。

『伊勢志摩百物語』不思議な蔵と岩の世界の編集・刊行 神道学科の学生を中心に伊勢志摩地域の名所や旧跡、自然文化資産の魅力を明らかにし、広く発信しようとするなど高く評価された。

『ウィキペディアタウン』本紙六十五号で取り上げた「ウィキペディアタウン伊勢」は国文学科生が主軸となって活動しており、平成二十八年度は「伊勢河崎商人館」「伊勢うどん」「伊勢春慶」「萬金丹」「伊勢市立図書館」の五項目についてウィキペディアの情報を更新した。



好評を博した理科の出前授業

『三重県内の小学校における理科の

海外勤務の現場を体感

平成二十八年度海外インターンシップ報告 (中国プログラム)

第三銀行のご協力により、三月六日から十日にかけて中国(上海・蘇州)にて海外インターンシップ(中国プログラム)が実施され、二名の学生が参加した。

十二月八日に第三銀行の方から事前指導として、日本と中国の経済情勢や異文化の中で働くこと、海外の方と付き合う必要について講義があった。さらに、海外での生活や習慣など多岐にわたる指導いただいた。

研修中は第三銀行の駐在員の方にご支援をいただき、日系企業三社を訪問。さまざまな体験を通じて日系企業が異国で展開するビジネスの現場を体感した。学生は業務だけでなく、海外で働くこと全般についての話も聞くことができた。



「受け身ではいけないと感じた」と参加者の感想

●主体的に行動できるようになりたいと思った。日本人の謙虚で心配りができる美徳を忘れずに働くことが大切だと感じた。

●普段から物事を深く考えていないと、きちんと言葉で説明できないと感じた。

●どの方も小さな疑問から物事を調べ、理解に努めるなど、社会人の方の仕事に取り組む姿勢、本質に向き合う姿が印象に残った。

イベント情報 (6～8月)

6月

24 土 皇學館大学共催講座

近鉄文化サロン阿倍野

神道と仏教―神仏習合と神仏分離―
「霧島神宮における神仏習合と神仏分離」
河野 訓 (文学部教授)

24 土 佐川記念神道博物館教養講座

佐川記念神道博物館講義室

学芸員が語る三重の文化と魅力Ⅳ
「中世 四日の市と道～常設展示リニューアルの成果と課題」
田中伸一 (四日市市立博物館学芸員)

7月

1 土 月例文化講座

431教室

禅宗の伝来 多田實道 (文学部准教授)

1 土 皇學館大学共催講座

近鉄文化サロン阿倍野

1日・短期講習会 皇室の基礎知識
松本 丘 (文学部教授)

8 土 研究開発推進センター史料編纂所古文書講座

佐川記念神道博物館講義室

第2回「古代文書を読む」
荊木美行 (研究開発推進センター教授・副センター長)

8 土 皇學館大学共催講座

近鉄文化サロン阿倍野

古事記を読み解く(開化天皇～景行天皇の段)
「垂仁天皇 下」 白山芳太郎 (文学部教授)

22 土 皇學館大学共催講座

近鉄文化サロン阿倍野

神道と仏教―神仏習合と神仏分離―
「十津川村における神仏分離」河野 訓 (文学部教授)

29 土 皇學館大学共催講座

近鉄文化サロン阿倍野

古事記を読み解く(開化天皇～景行天皇の段)
「景行天皇 上」 白山芳太郎 (文学部教授)

8月

4 金 みえアカデミックセミナー2017

三重県文化会館レセプションルーム

人とつながる、本でつながる
～本の魅力と可能性を地域のなかで考える～
岡野裕行 (文学部准教授)

5 土 皇學館大学共催講座

近鉄文化サロン阿倍野

1日・短期講習会 『日本書紀』を読む
「神武天皇 1 一日日出発」 大島信生 (文学部教授)

26 土 皇學館大学共催講座

近鉄文化サロン阿倍野

1日・短期講習会 なぜ、若者は熊野を目指すのか?
～聖地巡礼の現代的な変容から～
板井正斉 (教育開発センター准教授)

- 各講座の詳細につきましては、本学ホームページにてご確認ください。
- 共催講座 (近鉄文化サロン阿倍野)のみ、**有料**です。お問い合わせは**近鉄文化サロン阿倍野** (☎06-6625-1771)へお願い致します。
- 神道博物館教養講座は、事前の申込みが必要です【先着順】。お問い合わせは☎0596-22-6471へお願い致します。
- 史料編纂所公開講座・古文書講座は、事前の申込みが必要になります【先着順】。お問い合わせは☎0596-22-6462へお願い致します。
- その他お問い合わせは、皇學館大学地域連携推進室 (☎0596-22-8635)へお願い致します。

編集後記

新渡戸稲造は東大の入学試験で「なぜ英文学を学ぶのか」と面接官に問われ「我、太平洋の橋とならん」と答えたといひます。彼が英語で著した『BUSHIDO: The Soul of Japan』は、日本人の精神性や道徳観を広く知らしめた世界的名著となりました。語学は目的ではなく手段。学生の皆さんでは日本の歴史文化を正しく理解し、発信できる能力を持つ「真のグローバル人材」として大いに活躍してほしいものです。

【企画部】

未来のわたしに
会いにいこう。

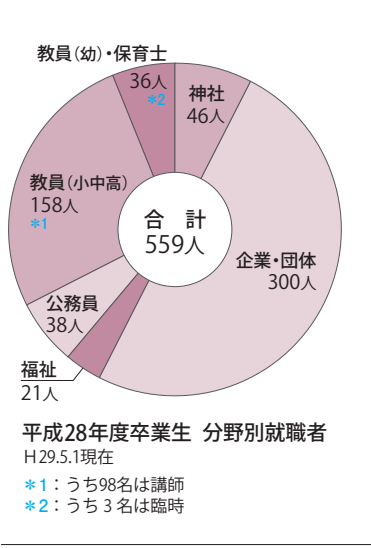
伊勢志摩で出会う。地産を学びつなげる学生たち。この土地の魅力を伝える人たちが、知らない新たな風景と、そしてその一つひとつが、好奇心や想像力を刺激してくれる。未来の自分との出会いに、つながっている。

伊勢志摩の Special Movie 2017 meets!

学生たちのムービーはもちろん、キャンパスライフで撮った、人・学び・風景など、情報が満載です！

Meets サイト

- 継続
- 大紀町木のおもちゃプロジェクト
 - 皇學館みらい対話団
 - 伊勢おもてなしヘルパーPJ
 - 防災のための大湊地域資源発掘PJ
 - 度会カリエリョクプロジェクト
 - 南伊勢町UAVドローン防災活動PJ
 - 伊勢シーパラダイスリニューアルPJ
 - 玉城ミュージックモンスターフェスティバル (TMMF) 実行委員会
 - 産学官連携日本酒プロジェクト
 - 伊勢河崎商家リノベーションPJ



公務員関係 前年より十名増

三重県庁三名、津市役所一名、伊勢市一名、鳥羽市役所一名、郡上市役所一名、明和町役場二名、作用町役場一名、自衛隊一般曹候補生二名、警察官十三名(三重県警九愛知県警一・警視庁二・長

野県警一)、消防四名(伊勢市三・松阪広域消防本部二)の計二十九名が正規採用となった。他に一年以上の臨時採用者が九名おり、計三十八名が就職した。

平成二十九年度本学入試では、一般入試において教育学部を中心に志願者が増え、全体の総志願者数では前年度比一〇〇・三%と全学科で安定した志願状況となった。

平成29年度 入試結果

学科	入学定員	志願者数	入学者数
文学部			
神 道	70	209	90
国 文	80	246	92
国 史	80	287	103
コミュ	80	186	96
小 計	310	928	381
教育学部			
小 計	210	1,201	252
現代日本社会学部			
小 計	100	251	117
大学計	620	2,380	750

文科科学省 地(知)の拠点

伊勢志摩の地域課題について、体験を通して学ぶ学修プログラム「CLL(コミュニケーション・ラーニング・ラボ)活動」が今年も始動！新たに十活動が加わり、計二十のプロジェクトが進行する充実のラインナップとなった(五月三十一日現在)。昨年度は約百七十名の学生が携わり、「視野が広がっ

- 新規
- 玉城町玄甲舎PJ
 - 「みえ食旅パスポート」利用促進PJ
 - 学生×地域サポーター「SBC」
 - JA伊勢「青ねぎ・いちじく」PJ
 - 宇治山田まちなか研究室PJ
 - みんなの声を聞くには？プロジェクト
 - 伊勢古市歌舞伎保存会
 - 宇治山田商業高校課題研究商品開発サポーター
 - 離島ツアー in 間崎島
 - 体験ツアーの企画と実施
 - 未来を担う子どもたちへ福祉のWAを紡ごう project (オレンジケアマイスター(認知症啓発活動))

平成28年度卒業生 就職状況

H29.5.1現在

学 科	卒業生 A	就職希望者 B	就職者 C	就職率 C/B
神 道	男 45 女 13 計 58	40 12 52	39 12 51	97.5% 100.0% 98.1%
国 文	男 54 女 58 計 112	41 51 92	40 48 88	97.6% 94.1% 95.7%
国 史	男 64 女 32 計 96	54 28 82	54 27 81	100.0% 96.4% 98.8%
コミュ	男 39 女 30 計 69	33 26 59	32 24 56	97.0% 92.3% 94.9%
教 育	男 118 女 134 計 252	97 124 221	97 124 221	100.0% 100.0% 100.0%
現 日	男 90 女 21 計 111	85 18 103	85 17 102	100.0% 94.4% 99.0%
合 計	男 410 女 288 計 698	350 259 609	347 252 599	99.1% 97.3% 98.4%

就職関係 三重県小学校・合格者占有率は県内トップ

一五八名(正規/公立五十八名・私立二名、講師九十八名)が教員(小・中・高)として、三十六名(正規/公立八名・私立二十五名、臨時/三名)が幼稚園・保育園に就職した。

とくに三重県小学校については全合格者二四七名中、本学は過年度卒業生を含め八十七名と合格者占有率三五・二%を保持。県内大学ではトップを堅持している。

教育学部を中心に志願者増

平成二十九年度 本学入試結果

保護者対象 就職講演会・説明会

7月22日(土) 13時～15時30分 開催のご案内

講演テーマ「売手市場の就活で、これだけは避けたいこと、知っておきたいこと」

進路別就職説明会 14時40分

- ◆622教室(神社)
- ◆621教室(企業・公務員)
- ◆722教室(教員・保育士)

講演会 13時～621教室

新たに十活動がスタート

平成二十九年度CLL活動

伊勢志摩の地域課題について、体験を通して学ぶ学修プログラム「CLL(コミュニケーション・ラーニング・ラボ)活動」が今年も始動！新たに十活動が加わり、計二十のプロジェクトが進行する充実のラインナップとなった(五月三十一日現在)。昨年度は約百七十名の学生が携わり、「視野が広がっ

た」「進路に影響した」等、好意的な意見が多く寄せられている。気になる活動があればぜひ参加

を。詳しくは、本学COのホームページをご覧ください。

http://coc.kogakkan-u.ac.jp/

就職率は九八・四%と好調

平成二十八年度卒業生 就職状況

平成二十八年度三月卒業生六九八名の就職状況は、就職希望者六〇九名、うち就職決定者五九九名、就職希望者に対する内定率は九八・四%となった(別表参照)。また、卒業生全体に占める就職者の割合は八五・八%であった。

なお、文部科学省が発表した「平成二十八年度大学等卒業生の就職状況調査(四月一日現在)」では大学生の就職内定率は九七・六%と調査開始以降、過去最高を記録している。

希望者全員が奉職

神職課程履修者の内、神社関係奉職希望者(大学院専攻科含む)六十七名全員が奉職し、就職率は百%となった。男子は

神職のほか事務職一名、女子は神職十一名・事務職五名としての採用であった。

一般企業関係 十月末時点で前年度就職者数に到達

昨年度は景況感の向上と、企業の採用意欲の大幅な回復を受け、順調に進行。十月末時点で前年度の企業就職者数に達し、最終的に企業・団体へは三百名(前年二七二名)が決定した。業界別では卸売業・小売業、サービス業が中心となった。

就活は早めに 就職・採用活動時期スケジュール

就活活動スケジュールに関しては、二〇一九年卒(平成三十一年三月卒業・修了予定者)も現行と同じ三年生の三月に採用情報の解禁&エントリー受付開始、同年六月に選考開始&内定出しスタートとなる。しかしながら、実際はこの就活解禁スケ

業が多く注意が必要。五月に入り続々と内定報告に来る学生が訪れているが、就活の動き出しが遅れると、後々必要以上に苦勞する傾向にあるといえる。就職支援担当部署では経団連の動向や景気状況を注視し、かつ保護者と緊密に連携しながら高水準をキープできるよう支援体制をより強化していく。

書道部に高松奨励賞授与

「高松奨励賞」は学校法人皇學館第四代常駐常任理事 故高松忠清氏のご遺志に基づく寄贈金を、学生の奨学に資するため開設された賞で、学友会活動において優れた成果を挙げた団体に対して授与される。この度、国内最高水準の公募展である中日書道展や高校大学書道展でも受賞

読売書法展に七名が入选したのをはじめ各種の書道展で顕著な成績をおさめたとして、書道部に授与されること

が決定。五月十二日に授与式が行われた。今後も書道を通じた人間形成・芸術探究に努め、さらなる活躍に期待したい。